

まとめ

下黒田Ⅱ遺跡に隣接する、川原宮Ⅲ遺跡では、平成29年度の調査で室町時代の区画溝や柱穴跡が見つっています。中世の大庭地区には、下黒田Ⅱ遺跡や川原宮Ⅲ遺跡、黒田館跡など溝で区画した館が複数存在することが分かり、中世の大庭地区の様子を考えるうえで大変貴重な調査例となりました。



下黒田Ⅱ遺跡と周辺の主な中世の遺跡 (S=10,000)

編集・発行

島根県教育庁埋蔵文化財調査センター

〒690-0131 松江市打出町 33

TEL.0852-36-8608

FAX.0852-36-8025

E-mail.maibun@pref.shimane.lg.jp

<http://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/>